

2022年度 第6回理事会 開催

2023年3月2日(木)、理事9名(定員13名)、監事1名が出席し、2022年度第6回理事会を仙台市内で開催しました。

当日は、「2023年度事業計画」および「2023年度収支予算」などが審議され、すべての議題が承認されました。また、「2022年度事業経過報告」などを行い、すべての報告事項が了承されました。



2023年度事業計画について

今回の理事会で承認された「2023年度事業計画書」および「2023年度収支予算書」は、当センターのホームページでご覧いただけます。

なお、事業計画の概要は、以下のとおりです。

<事業計画の作成にあたって>

東北圏における社会経済活動は、「With コロナ」に向けた動きが様々なレベルで進んでいるものの、国際情勢が及ぼす影響等も相俟って、その先行きは依然として不透明な状況が続いている。そのような中においても、人口減少・少子高齢化・若者の圏外流出や東日本大震災からの復興など、東北圏の重要な課題に対し、官民の各主体が連携し、長期的に取り組んでいくことが求められる。

昨年度、当センターは従来から注力している「若者・女性の東北圏内定着」および「東北圏企業における女性活躍」の推進に向け、フォーラムや企業向け勉強会等に取り組んだ。また、地域課題の解決に向けては、ベンチャー・スタートアップ成長による地域活性化調査や、移動困

難者・買物困難者対策としての新たな移動支援サービス等に関する先行事例調査等を実施した。

2023年度に臨むにあたり、当センターでは「知をつなぎ、地を活かす」という活動理念の下、組織の特長である課題探求力やネットワークを活かし、さらなる価値創出を図っていくこととした。そのため、2030年頃を想定した長期的な目標として「暮らしを支える経済基盤の上に、多様な人材が活躍する個性豊かな東北圏の実現」を掲げた。さらに、長期的な目標の達成に向け、中期的(2023～2025年度)に取り組む重点分野として、「人口構造の変化を踏まえた地域活力の維持・向上」、「地域資源を活かした社会課題の解決」、「東北圏のポテンシャルを活かした産業活性化」という3分野を設定した。

2023年度の個別事業のテーマについては、上記3分野におけるバランスと、先駆性・時代性・独自性等を考慮して選定している。また、個別事業は調査研究から実践までのプロセスを意識するとともに、中長期の展望も踏まえて取り組むこととしている。

<主な事業>

I. 公益目的事業

1. 調査研究事業

- (1) 東北圏企業におけるリカレント教育の現状と課題(新規)
- (2) 東北圏の空き家問題の現状と課題(新規)
- (3) 東北圏における食ビジネスの新展開(新規)
- (4) 東北データブックオンラインのデータ更新

2. プロジェクト支援事業

- (1) 東北・新潟の「キラ☆企業」情報発信事業
- (2) 人口の社会減と女性の定着に関する情報発信
- (3) 地域活性化に関するプロジェクト支援

3. 人財育成事業

- (1) TOHOKU わくわくスクール
- (2) 東北・新潟の「キラ☆パーソン」
- (3) 東北・新潟女性応援ネットワーク勉強会

4. 情報発信、情報や資料の収集および提供

- (1) 機関誌「東北活性研」等の発行
- (2) ホームページ等による情報提供

II. 収益事業等

1. 収益事業

- (1) 景気ウォッチャー調査(東北地域)
- (2) 東北・新潟の活性化応援プログラム

今後の主な予定

2023年 5月23日(火)	2023年度 第1回理事会	仙台市
2023年 6月 8日(木)	2023年度 定時評議員会	仙台市
2023年 8月31日(木)	2023年度 第2回理事会	仙台市
2023年11月 2日(木)	2023年度 参与会	仙台市
2023年12月 5日(火)	2023年度 第3回理事会	仙台市
2024年 3月 5日(火)	2023年度 第4回理事会	仙台市

※当センターのホームページでも情報は随時更新しております。